

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ真由美ルーム和		
○保護者評価実施期間	2024年11月20日		～ 2024年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に併設されているので子どもの様子を把握しやすく、園との連携や情報共有が図りやすい。 ・幼稚園生活のカリキュラムを支援にも取り入れることができる。 ・園庭を利用することで遊びや支援の幅が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園のカリキュラムを取り入れる。（幼児教育の視点で支援を行うことができる） ・自園共有スペース（園庭、フリールーム、遊戯室等）を活用する。 ・幼稚園との共有会や会議等を活用することで、園との連携を図るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援への理解を深めてもらうため、幼稚園の先生や保護者の方にも参加できるようなイベントを開催している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保育時間内に支援を行うことができる為、集団生活での課題に対応しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの課題に合わせて支援を行う時間を配慮する。 ・体調面や精神面のケアをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を実施予定。 ・関係機関との連携を図る。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭・保育士の経験が豊富な職員が多いため、幼児教育の視点から支援、サポートすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園の生活に必要なスキルが身に付くような支援を提供する機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修、勉強会等への参加。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・より専門的な資格保有者がいないため、支援の視点が偏ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開所後半年を経過したばかりで、児童発達支援事業の経験が豊富な職員が少ないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等に参加し、スキルアップ・内容の充実化を図る。 ・地域の医療機関等と連携をとり、いつでも協力体制が図れるようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保育時間内に支援を提供できる反面、保護者への直接支援の機会が少ないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育時間内に支援を行うこともあり、通園方法によっては保護者が来所する機会が少ない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性、保護者の困りごとを話す機会を積極的に設けるようにしている。 ・必要に応じて面談や相談の時間を設定している。
3			